※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０３６

令和５年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術１	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	美術１　（光村出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

２　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して，造形的な見方・考え方を働かせ，美的体験を重ね，生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)　対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて表現方法を創意工夫し，創造的に表すことができるようにする。
(2)　造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり，価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
(3)　主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	美術1へのアプローチ	【鑑賞】 教科書を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術1」の学習イメージを膨らませる。	c:美術の多様な表現形式に触れ、その中で、主体的に深く興味を抱いた事柄の探求に取り組もうとしている。（表現に関して）			ワークシート 授業観察
	カラーチャート	【絵画・彫刻】 ・色彩基礎 色彩の3属性を理解するために、アクリル絵具を使ってカラーチャートを作成する。	a:有彩色と無彩色の混色の程度によりトーンが形成されることを理解する。（知識・技能）	カラーチャート		
	イラストの制作	【絵画・彫刻】 (試作) モチーフを輪郭線と面の要素に分化する方法を試作する。 (本制作) ・フォルムの構成 具象形体を複数トリミングしてレイアウトする。構成原理と琳派の表現を参考にして構成する。 ・色彩の構成 固有色に拘らずにトーンの分類に基づいてフォルムを生かす発色で構成する。 ・形体と色彩のオリジナルな切り口による新たな造形世界を展開する。 ・お互いの作品を鑑賞し合って、多様な美意識に触れる。	a:線と面という造形要素による効果的な表現方法を理解する。（知識・技能） b:日本固有の伝統的な琳派の表現方法を参考にして動的バランスの構成をしている。(思考・判断・表現) c:形体に相応しい色彩をトーンの分類に基づいて選択し、表現に生かそうとしている。（表現に関して）	試作	本制作	本制作 授業観察

※令和４年度以降入学生用

前期	デッサン基礎	【絵画・彫刻・】 ・クロスハッチングと グラデーション	a:クロスハッチングの技法で 明度差の段階を表現できることを 理解する。（知識・技能）	グラデーションの作品		
後期	クリスマスファンタジーのランプ制作	【デザイン・鑑賞】 ガラスフュージング 及びステンシル・ハトメ抜きの技法 ・試作を行う ・過去の作例の参照 ・アイデアスケッチ 構成原理を応用しながら構想する。 ・本制作の彩色 構成に適応するように色彩を選択し、ファンタジーの 世界をガラス・ステンシル・ハトメ抜きなどの技法を活用して表現する。 ・ランプ本体の加工 立体作品の作図から組立てを行って完成する。	a:試作をとおして本制作に必要な構成理論や技法について理解している。（知識・技能） b:透過する光や色彩の美しい ハーモニーを表現するために作例から学び、構成理論と技法を活用する工夫をし、構想を練っている。 （鑑賞・発想・構想） c:美しさを表現するために目的や機能を総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し、創作に取り組もうとしている。(表現に関して)	試作	本制作	授業観察 本制作
	静物画	【絵画・彫刻・鑑賞】 ・デッサン基礎 円筒と球体の 着彩デッサン ・静物画 モチーフをよく観察し、フォルムを正しく表現し、明暗・色相・彩度 及び質感にも留意し、アクリル絵具で彩色する。	a:基本形体の立体感と質感の特徴を把握し、明度・色相・彩度の効果的な表現方法を理解している。（知識・技能） b:複数のモチーフの置かれた空間の光と影のハーモニーの美しさを感じ取り、知識や技能を活用して統一的な空間を創造できるように構想を練って表現している。（思考・判断・表現） c:個別具体的な事柄から空間的な関連性に興味を持って、表現の可能性を拡げていく創造的な活動に取り組もうとしている。 （表現に関して）	着彩デッサン	静物画	授業観察 静物画

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度